

令和7年度第3回仙台市環境審議会 議事録

■日 時 令和7年12月24日(水) 15時00分～

■場 所 TKPガーデンシティ仙台 ホール30B

■次 第

- 1 開 会
- 2 議事事項
  - (1) 「仙台市環境基本計画（杜の都環境プラン）」等の答申（案）  
について
  - (2) 「新築建築物への太陽光発電導入・高断熱化促進制度」答申（案）  
について
- 3 その他
- 4 閉 会

■出席委員数

出席 21名

欠席 6名

■資 料

- 資料1-1 「杜の都環境プラン」等の改定中間案に関するパブリックコメントの実施結果について
- 資料1-2 「杜の都環境プラン」（改定中間案）に寄せられた意見と意見に対する考え方について
- 資料1-3 「仙台市地球温暖化対策推進計画」（改定中間案）に寄せられた意見と意見に対する考え方について
- 資料1-4 「杜の都環境プラン」等の改定中間案からの主な修正点
- 資料1-5 「杜の都環境プラン（仙台市環境基本計画）」答申（案）
- 資料1-6 「仙台市地球温暖化対策推進計画」答申（案）
- 資料2-1 「新築建築物への太陽光発電導入・高断熱化促進制度」中間案に関するパブリックコメントの実施結果について
- 資料2-2 「新築建築物への太陽光発電導入・高断熱化促進制度」中間案に寄せられた意見と意見に対する考え方について
- 資料2-3 「新築建築物への太陽光発電導入・高断熱化促進制度」答申（案）

発言者	発言内容
議長（風間会長）	<p>審議会の規則に基づき議事を進めていく。</p> <p>初めに、会議の公開、議事録署名について確認する。</p> <p>会議の公開に関しては、従前と同様、個人のプライバシーに関することなどで非公開の必要がある場合以外は、原則として会議を公開することとしたと思うが、皆様よろしいか。</p>
委員	「異議なし」
議長（風間会長）	<p>そのようにする。</p> <p>次に、議事録に関しては、今までどおり、会長と出席委員1名の署名をもって正式な議事録とするということによろしいか。</p>
委員	「異議なし」
議長（風間会長）	今回の議事録に署名いただく委員は、名簿順とし、今回は高山副会長にお願いする。
高山秀樹副会長	了承した。
議長（風間会長）	<p>議事事項に入る。</p> <p>（1）の「仙台市環境基本計画（杜の都環境プラン）」等の答申（案）について。</p> <p>両計画の改定については、今年度の6月に市長より諮問を受けて以降、議論を進めてきた。今回が答申に向けた最後の議論となる。</p> <p>まずは改定中間案への意見募集の実施結果について説明し、その後、市民意見等を踏まえ、取りまとめた答申案について、改定中間案からの修正点を中心に説明する。</p> <p>それでは、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局（環境企画課長，脱炭素政策課長）	(資料1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6に基づき説明)
議長（風間会長）	事務局より、「仙台市環境基本計画（杜の都環境プラン）」等の答申（案）

長)	<p>について説明があった。ご質問、ご意見を願います。</p>
東岡礼治委員	<p>私から、3点、ご意見申し上げさせていただく。</p> <p>まず、15ページの脱炭素先行地域について追加していただいたことは大変感謝している。特に仙台市においては、建築物のZEB改修や公共施設の太陽光発電など、様々な取組を行っていただいているので、今後、その成果も含めて、ぜひPRをしていただければと思う。それが1点目。</p> <p>2点目だが、基本的な考え方の部分で、例えば11ページのところ、目指す環境都市像ということで、それぞれ脱炭素都市づくり、自然共生都市づくり、資源循環都市づくりと、それぞれ環境施策に応じて記載をされていて、それ自身はそれぞれいいことだとは思いますが、今の環境施策の課題としては、環境施策のシナジーというか、例えばメガソーラーなどが批判されていて、脱炭素という観点ではいいかもしれないが、自然共生や生物多様性の観点から見ると様々な批判が起きていることもあり、国際的にも環境施策としては、ネット・ゼロ、循環経済、ネイチャーポジティブを統合的に進めていくというところが最近のトレンドでもあり、第六次環境基本計画でもそういった点は強調しているところなので、それぞれの施策についてはそれぞれすばらしいが、統合的に施策を進めていく必要があるというところを何か書いていただけるといいのかなというのが2点目。</p> <p>最後は、事務的な修正だが、14ページに注意書きの星印1のところ、地球温暖化対策計画が令和3年と古い計画のままなので、そこはリバイスをしていただければと思う。</p>
議長（風間会長）	<p>2つ目の質問の横串のようなセクショナリズムにならないよう全体をうまく使ったベネフィットなりシナジーを生かしたという話は、これをつくるときにも話が出た。人が全部つなぐだろうということで、最後の「行動する人づくり」が、全てそういったベネフィットやトレードオフを考えるとというようなことで、この文言を盛り込んでいる。</p> <p>おっしゃるとおり、一つ一つの施策がうまく具体的につなげるような話が出てくると今後いいと思っており、そこは今後、計画の進み具合を見ながら、次期の改訂のときに成果も含めて反映できたらと思う。</p> <p>何か事務局、追加をお願いします。</p>
事務局（脱炭素都市推進部長）	<p>まず、1点目の脱炭素先行地域については、今回、先行地域に選定されたということで記載を追加したが、鋭意取組を進めており、先行地域の成果についてもホームページ等で発信をしているところだが、これから事例やモデ</p>

	<p>ルを創出していけることになると思うので、この取組を全市域、あるいは市域外にも広げていけるように、取組の成果についてはPRを今後もしていきたいと考えている。</p>
<p><b>事務局（環境部長）</b></p>	<p>2点目で指摘をいただいた各施策の連携、シナジーに関してだが、答申案の54ページに「重点的な取り組み」ということで第5章の部分に記載しており、各分野の取組をそれぞればらばらに進めるということではなく、各施策の連携を図りながら効果を高めていくということで、重点的なプロジェクトとして3つのプロジェクトを定めている。そうしたところで各施策の推進力を高めながら、より効果的な施策展開ができるように取組を進めていきたいと考えている</p>
<p><b>事務局（脱炭素政策課長）</b></p>	<p>地球温暖化対策推進計画の点で指摘のあった14ページのところ、令和3年の計画については、米印のところ、時点修正ということで確認の上対応したいと思う。</p>
<p><b>東岡礼治委員</b></p>	<p>シナジーと申しますか、そういうことは世の中のトレンドでもあるので、54ページにも書いてあるかもしれないが、最初の冒頭のところも、可能であれば入れていただくとよりよい計画になるのではないかと思います。</p>
<p><b>齋藤優子委員</b></p>	<p>たくさんの意見がパブリックコメントで出てきたと思うが、その中で目を引くのが、具体性が分からないということと思う。先ほど横串を刺すという話があったが、それぞれの課題が非常に複雑化しているために、なかなか対策のやり方が難しいとは思っている。また、3つのプロジェクトを知らないという意見もあり、先ほどのシナジーという話で部局間連携という話も出てくると思う。こういったところを解決してよく知っていただく、考えていただくことで、自分事として行動していただくことが重要と思う。そのためにはどうしたらいいかと考えると、一方的な広報ではなくて、参加型、以前ワークショップをした企画もあったかと思うが、市民の方々もしくは事業者も含め、参加型、対話型のもので考えるのはいかがか。そういうことが「人づくり」というところにもつながっていくと思うので、ぜひ検討していただければと思った。</p>
<p><b>議長（風間会長）</b></p>	<p>この件については以上としたいと思う。 本日いただいた意見等については、会長の私にご一任いただき、事務局と調整して答申したいと思うがよろしいか。</p>

<b>委員</b>	「異議なし」
<b>議長（風間会長）</b>	<p>それでは、そのように進めたいと思う。</p> <p>続いて、議事事項（２）の「新築建築物への太陽光発電導入・高断熱化促進制度」答申（案）について。</p> <p>こちらは、昨年度の11月に市長より諮問を受けて以降、議論を進めてきた。こちらが今回が答申に向けた最後の議論となる。</p> <p>それでは、事務局より説明をお願いする。</p>
<b>事務局（脱炭素経営推進課長）</b>	(資料2-1, 2-2, 2-3に基づき説明)
<b>議長（風間会長）</b>	それでは、ご質問、ご意見をお願いする。
<b>駒井武副会長</b>	<p>いろいろな意見をいただいております、大半は賛同していただけるような意見だったと思う。中には少しネガティブな意見もあり、今説明あったように安全・安心のポイントが1つ大きくあったと思う。それに関して、部会でも審議しており、今説明があったような修正あるいは追加ということで十分対応できるのではないかと考えている。そのほか、サプライチェーンの問題やリサイクルの問題についても審議されており、それらに関してはほぼ対応できるのではないかと考えている。</p> <p>それから、439件全部目を通させていただいた。それで、むしろ賛同的なご意見の中には、例えば、ソーラーパネルと蓄電池を合わせて非常用の電源とすることができる、これは大きなポイントと思う。それから、ほかの県への波及効果という面でも、東北では初めてとなるので、そういった効果も大きくあるだろうという意見。それから、断熱化に関する意見が多くて、疾病の予防とか熱中症の予防とか、そういったところでも十分な効果があるのではないかと。それから、もう1つは、中小のメーカーにもこれから少し波及していただきたいという意見もあったので、そういったところも大きなメリットと思っている。</p>
<b>木野正登委員 （代理出席： 佐々木東北経済産業局 環</b>	<p>全体に関する情報提供を言わせていただければと思う。</p> <p>メガソーラー対策について、昨日23日に、大規模太陽光発電事業に関する関係閣僚会議において、メガソーラー対策パッケージが決定した。経済産業省としては、不適切な事案に対する法的規制の強化、事業評価、環境影響評</p>

<p><b>境・資源循環 経済課長)</b></p>	<p>価の対応の見直し、太陽光発電設備の設計不備による事故を防止するための第三者機関による認証制度の創設などを進める予定になっている。</p> <p>また、地域共生型への支援の重点化として、FIT・FIPの制度について、2027年以降、地上設置の事業用太陽光について支援の廃止を含めた検討をしていく。その上で、ペロブスカイト、屋根置き等の地域共生が図られるものについて、重点的に支援を行う予定となっている。</p> <p>今後、関係省庁と連携しながらメガソーラー対策パッケージを迅速かつ確実に実行するという事になっている。全体としては内閣官房のホームページに記載があるので、確認いただければと思う。</p>
<p><b>議長（風間会 長）</b></p>	<p>ちょうど、国の施策が出てきたところだったということの説明を受けた。ほかに何かコメント等はあるか。</p> <p>今の話だと地域共生というキーワードがあったかと思うが、この促進制度に対してすごくマッチしているのではと思った。</p>
<p><b>東岡礼治委員</b></p>	<p>先ほど経産省からの説明に補足して、その中でも屋根設置をはじめとした地域共生型の太陽光発電の導入形態について支援を重点化することを検討するという政府の方針も出ており、そうした観点からも、今回の制度というのは非常に推進すべきものと思っており、今後、全国の波及効果も見込めると思うので、ぜひ本制度を進めていただければと思う。</p> <p>また、今回の資料の中でも様々なシミュレーションをやっており、今回、それらについても様々な結果を分かりやすく示してほしいという意見が出ていたと思うので、そうした意見を踏まえて、ぜひシミュレーション結果を分かりやすく示していただければと思う。</p>
<p><b>議長（風間会 長）</b></p>	<p>先ほどの齋藤委員の話もそうだが、皆さんに伝わるようにいろんなところで宣伝というか、ホームページに掲載するだけでなく、いろいろなイベントとか、そういうもので啓発していただければと思う。</p>
<p><b>議長（風間会 長）</b></p>	<p>それでは、この件は以上とする。</p> <p>ただいま皆様からいただいたコメントについては、駒井部会長と私にご一任いただき、事務局と調整し答申したいと思うがよろしいか。</p>
<p><b>委員</b></p>	<p>「異議なし」</p>
<p><b>議長（風間会 長）</b></p>	<p>それでは、議事事項については以上とする。</p> <p>続いて、次第3、その他についてだが、皆様から何かあるか。</p>

委員	「特になし」
議長（風間会長）	特になければ、以上で本日の環境審議会の議事を終了したいと思う。 審議の円滑な運営にご協力いただき、感謝する。
司会	本日審議いただいた答申案については、会長と調整の上、後日、会長から市長へ答申をしていただきたいと考えている。答申をしていただいた際には、改めて委員の皆様にご連絡する。 また、その後、「杜の都環境プラン」及び「新築建築物への太陽光発電導入・高断熱化促進制度」については、2月の市議会に議案として提案してまいりたい。
司会	以上をもって、令和7年度第3回仙台市環境審議会を終了する。

令和8年 3月23日

仙台市環境審議会会長

氏名 風間 聡

仙台市環境審議会副会長

氏名 高山 香樹